

2021年11月26日

各位

株式会社北洋銀行

## 「観光遺産産業化ファンド」を通じて摩周エリアの 観光資源磨き上げをおこなう株式会社弟子屈町振興公社に出資しました

北洋銀行は11月24日付で、株式会社弟子屈町振興公社様(以下「同社」という。)に対し、株式会社観光産業化投資基盤を無限責任組合員とする観光遺産産業化ファンドを通じて出資しました。

今回の出資は、国立公園満喫プロジェクト推進<sup>※</sup>の一環として、2021年3月に北海道弟子屈町、北海道、釧路信用金庫、北海道エアポート株式会社、環境省、株式会社地域経済活性化支援機構及び当行の7者で締結した「阿寒摩周国立公園活性化に向けた摩周エリアの観光資源磨き上げ連携協定」(以下「本協定」という。)に基づき、実行するものです。国立公園満喫プロジェクトとして環境省、地域、企業が連携した枠組みによる国立公園への出資案件は初めてとなります。

阿寒摩周国立公園を代表する摩周湖、屈斜路湖、硫黄山を含む摩周エリアの大部分を抱える弟子屈町は、日本最大の屈斜路カルデラ等が造り出した豊かな自然に恵まれており、阿寒摩周国立公園が立地する周辺市町とともに環境省が主導する国立公園満喫プロジェクトと連携しながら観光資源の磨き上げを進めてきました。

同社は、この取組みをさらに推し進めるべく、環境省や地域観光団体やアクティビティ事業者等との連携により、自然中核地である摩周湖・硫黄山のレストハウス改修による新たなビューポイントや滞在環境の整備、中核地周辺並びに中核地間の移動を楽しむ体験コンテンツの整備支援等を計画しています。

当行は引き続き、同社への支援と本協定に基づいた阿寒摩周国立公園の摩周エリアの観光資源の磨き上げを通じ、地域活性化と自然環境保護・保全の好循環による持続可能な観光のモデルづくりに協力してまいります。

※「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき環境省が推進しているプロジェクト

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。

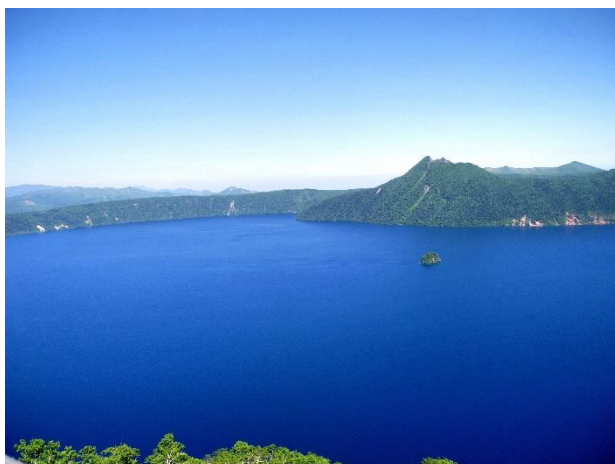
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

## 【株式会社弟子屈町振興公社様の概要】

所在地	北海道弟子屈町
代表者	代表取締役 吉備津 民夫
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿寒摩周国立公園摩周湖及び硫黄山レストハウス事業</li> <li>・地域振興に関する研究・開発・市場調査・販売等</li> <li>・観光事業並びにこれに関する企画・広告・宣伝等</li> <li>・上記に附帯関連する弟子屈町から委託を受けた事業</li> </ul>

## 【阿寒摩周国立公園 摩周エリア(弟子屈町)の自然資源】

世界有数の透明度を誇る「摩周湖」



噴気を上げる「硫黄山」



日本最大のカルデラ湖「屈斜路湖」



強酸性の硫黄泉が湧く「川湯温泉」

